



【教育目標】 校訓「すなおな心・たくましい体・かんがえる子」をめざし
心身ともに健やかで 自ら学び高め合う 心豊かな子の育成に努めます

【めざす児童像】

- ・挨拶と感謝の達人
- ・歌声と笑顔の魔法使い
- ・学校生活と授業の主役

【めざす学校像】

- ・安心感と信頼感に満ちた学校
- ・学力と学習意欲が高まる学校
- ・家庭・地域に信頼される学校

【求める教師像】

- ・豊かな愛情と確かな指導力
- ・揺るぎない信頼感と安定感
- ・心のゆとりと朗らかさ

＜経営方針＞

「笑顔でつながる鶴小」（子供・保護者・地域・職員のみながつながる学校）

- (1) さわやかな挨拶で児童の心をつなぎ、笑顔いっぱい歌声の響く学校づくりに努めます。
- (2) 児童の気付きや考えをつなぎ、学習意欲を高め確かな学力を身に付ける授業づくりに努めます。
- (3) 学校・家庭・地域をつなぎ、安全で安心できる校区づくりに努めます。

＜重点目標＞

- (1) 特色ある教育活動を推進する。
 - ・「歌声の響く学校づくり」を一層推進することで、全校児童の心の熟成を図るとともに鶴小の伝統を受け継いでいこうという気持ちを育む。
 - ・外国人児童への適切な生活指導と日本語指導の充実、特別支援学級における児童の自立や社会参加を目標に据えた支援のあり方を探る。
 - ・児童会・委員会、ボランティアなど児童の主体的な活動を奨励し学校全体を活性化することで、児童の自主性の向上に努める。
 - ・学校行事、体験学習、異学年交流を通して、人との関わりによって得られる充実感や達成感、周囲への感謝の気持ちなど豊かな人間性を育む。
 - ・学級集団の状態を把握するアンケートの結果分析をもとに、児童個々への支援を考え、児童間の良好な関係づくりと安心して過ごせる学級づくりに努める。
- (2) 基本的な学習習慣と健康的な体づくりを大切にする。
 - ・児童の実態を考慮した座席の配慮で学習しやすい環境を整え、自分の考えを形成し意見交流するなかで、最後まで真摯に聴き合う学級集団を育てる。
 - ・各教科で「読む、書く、対話する、交流する」などの活動をルーティン化することで、見通しをもって集中して学ぶ習慣をつける。
 - ・iPadを活用した効率のよいドリル学習と家庭学習の定着、読書の習慣化を図る。
 - ・「早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち」ができ、毎日学校に通える子供を育てる。
 - ・全校外遊びの日の設定や体力向上プログラムを体育の授業で活用し、体力の向上を図る。
- (3) 授業改善に努める。
 - ・児童が率先して学び合う機会や、課題解決的教科学習の単元を設け、児童の考えをつなぎ、確かな学びの形成や学びの総合力の育成に努める。
 - ・学習目標を達成するなかで自己有用感をもたせ、「次はこれをしたい、みんなのためになることをしたい」という学びに向かう力の育成に努める。
- (4) 地域の教育力の活用と教師力の向上を図る。
 - ・学校から家庭や地域へ情報を発信していくことで、信頼関係を構築する。
 - ・学校、PTA、地域が協働し、安心・安全な地域ぐるみの見守り体制を構築する。
 - ・研究授業や研修会を通して、ベテランと若手教員が共に高め合う場を設け、教師力の向上に努める。
- (5) 多忙化を解消するために職員のつながりを大切にした職場環境づくりを図る。
 - ・関連付けられる会議は集約して精選を図り、校務分掌を複数人割り当てて、業務の軽減を図る。
 - ・道徳の授業や教科担任制を学年体制で実施し、学年全体で児童を見守り育てるとともに教材研究の時間削減を図る。
 - ・「ひと手間」「ひと声」「ひと笑い」で、笑顔でつながる職員集団の育成を目指す。